

# 佐渡生きものの語り

## 作品集

# 2014



## 「生きもの語り」について

平成20年、一度は姿を消した朱鷺が佐渡の空に舞い戻つてきました。これを機に佐渡では、朱鷺の餌場である田んぼを生きものでいっぱいにしようと、農薬や化学肥料を極力減らし、生きものたちの命を大切にする環境との共生を目指す「生きものを育む農法」を取り入れました。

私たちの最初の目標は「朱鷺の餌」を確保することでしたが、生きものの調査などを通して田んぼの生きものたちと身近に接していくうちに、田んぼには実に様々な生きものたちが命の営みを繰り返しながら懸命に生きている姿を目の当たりにします。そしてこの生きものたちの力を借りる事によつて、より豊かな自然環境の創造やお米づくりができる教えることを教えてもらつたのです。

佐渡市では「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」を全島に広げ、より安心して美味しく食べてもらえる佐渡米づくりに奮闘しています。

毎年6月第2週と8月第1週の日曜日は「全島一斉生きものの調査の日」として農家はもちろんのこと、地域の子供たちや消費者も一緒になつて生きものたちと向き合おうとしています。

「生きもの語り」とはそんな生きものたちへの「まなざし」を文章や川柳、イラストなどで表現したもののです。

川柳・短歌部門 グランプリ作品

朱鷺を見て

学童動かず

秋の夕

品川 三郎 (佐渡市)

《選考委員から》

夕空に映えるトキ色の翼。美しいものを見た感動は、理屈抜きで心に染み入ります。この子どもたちは、将来どんな佐渡を造ってくれるのでしよう。

生きものと 恵み分け合う 佐渡の情

梶浦 公靖（東京都）

雨上がり 朱鷺と競うか 佐渡の虹

野原 重政（兵庫県）

大空の 上からトキの おもてなし

綾部 保知（茨城県）



※ フォト川柳部門は1作品のみの応募の為、特別賞とさせていただきます。



## と 父と一緒に田んぼのお世話

ペンネーム・茶爺 (佐渡市)

## ポエム（詩）部門 特別賞

※ ポエム（詩）部門は1作品のみの応募の為、特別賞とさせていただきます。

KOTA SADO

- K O T A   S A D O -

- 佐渡への想い -

オム・サイ（インドネシア）

K = KENANGAN YANG INDAH TIDAK DAPAT KAMI LUPAKAN  
DI KOTA SADO, MASYARAKATNYA SANTUN SURI-  
TAULARANYA.

K：この美しい佐渡を 礼儀正しい  
人々を 忘れることは決してないだろ  
う

O = OBYEK WISATANYA SANGAT MEMERIK SEKALI  
TERUTAMA BURUNG TOKI, CANTIK SEKALI  
WALAUDUN JAUH NAMUN DEKAT DI HATI

O：観光地 朱鷺をはじめとした魅力  
ある地 トキは目には遠いけれど 心  
のそばに

T = TERLUPAKAN KAMPUNG HALAMANYA  
KARNA KEINDAHAN KOTANYA SADO DAN  
KECANTIKAN ANAK DARENYA SERTA IBU  
DAN GANTENG BAPAKNYA.

T：忘れられない美しい郷 街は美し  
く、乙女は可憐で 婦人は美しくそし  
て、男性は格好いい

A = ALANGKAH INDAHNYA HIDUP INI APABILA KAMI  
KEMBALI LAGI DI KOTA SADO INI, DAN JUGA BAPAK  
IBU DATANG KETEMPAT KAMI KITAPANG  
TNGP

A：この佐渡に 再び戻ってくること  
が叶うならば 私の人生はもっと素晴  
らしくなることだろう

S = SEJUK UDARANYA, SUBUR TAWAHANYA SEPADAN  
DENGAN MASYARAKAT DAN LINGKUNGANNYA MAHLUK  
HIDUP LAIANYA.

S : 涼しい空気 肥沃な大地 そこに  
暮らす人々や生きものとうまくつり  
合っている

A = ALANGKAH INDAH KOTANYA, PERUHAT  
GENUNG KIRI KANINYA, PERBENTANG SAWAHNYA  
BURUNG TOKI MASKOTNYA.

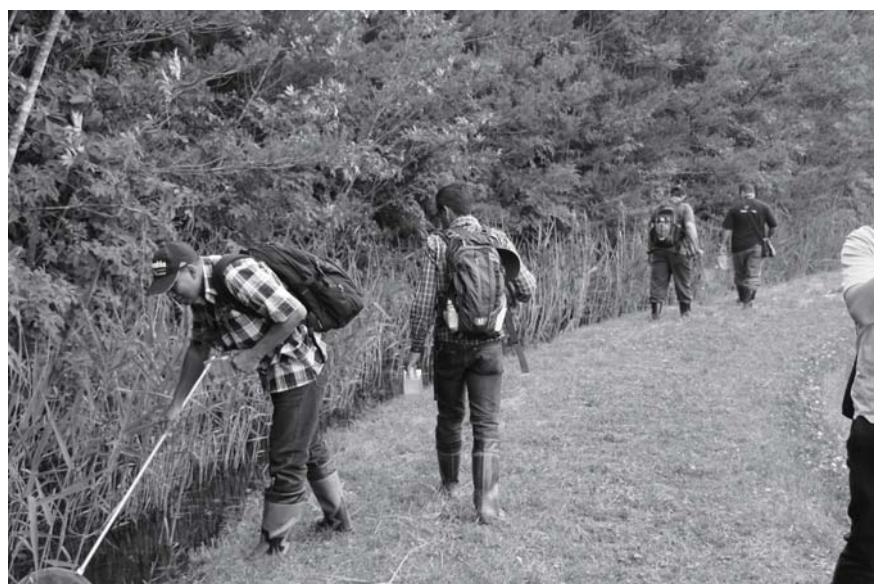
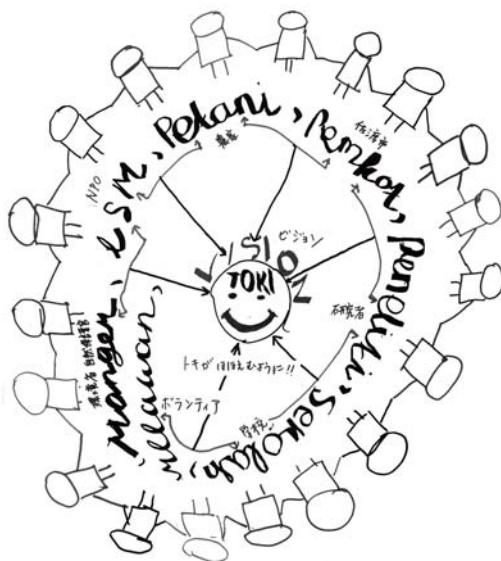
A : ああ なんて美しいまちだろう  
左右に見える山々 広がる田んぼ そ  
してトキは町に幸運をもたらすものだ

D = DILIHAT DARI JAUH KOTA SADO TETAP MENARIK  
DAN DILIHAT DARI DEKAT TIDAK MAU —  
BAIK/KEMBALI KE INDONESIA

D : だから遠くから見ても 素晴らし  
い佐渡のまち 近くで見たらインドネ  
シアに帰りたくなるほどに

O = ORGANISASI SINGKAT BAHK, MAJU KARNA SEMUA  
PIHKAK MERUDIKUNGSINYA : LSM, PERUSAHAAN  
PEMERINTAH, Lembaga : CAINUYA KARNA KASH  
SAYANGANYA KEPADA MASYARAKAT, ALAM DAN —  
MAHLUK HIDUP PADA UMLUMANYA.

O : おお この優れた体制 —市民団  
体、企業、行政— 皆が一丸となって  
地域と自然として生きものを愛して  
いるのだ



2014年6月にインドネシアからJICA研修で来島されたオム・サイさんが佐渡への想いを詩にして  
くれました。訳：Yamadaさん

● 川柳・短歌部門 応募作品

佐渡キッズ 生きもの調べ 水馬

あめんばう

佐渡に生き 小鳥も虫も みんな友

田岡 弘

我が田畠 トキが見守る 佐渡の空

木立慈雨

ありのまま 命をつなぐ 森川海

泰平楽

秘密基地 木の上じいじ やんちや顔

泰平楽

手をかざし ヤンマのあにき 棚田越え

泰平楽

朱鷺の舞う 空どこまでも 秋の青

貝田 ひでを

涼新た 島どつしりと 日本海

貝田 ひでを

品川 三郎

佐渡K i d s 生きもの調査隊  
米袋イラストギャラリー



佐渡K i d s 生きもの調査隊

須田 優心

稲干して 黄金の夕日 佐渡の空

貝田 ひでを

草木も 鳥も人もなびくよ 佐渡島

梶浦 公靖

四季の田に いきもの語り 佐渡贊歌

梶浦 公靖

いきものの 贊歌が聞こえる 佐渡の四季

梶浦 公靖

なびくのは 草木ばかりか 生きものも

梶浦 公靖

稻刈りを 雀の家族が 濟むを待つ

梶浦 公靖

芋畠 ミミズ顔出す 雨上がり

梶浦 公靖

海鳥よ お供どこまで 佐渡フエリー

梶浦 公靖

朱鷺がいる 昭和の情景 ここにある

梶浦 公靖

佐渡Kids生きもの調査隊

宮川 優奈



佐渡の森 マイマイカブリが かくれんぼ

らくちゃん

用水の 流れにイモリ 立ち向かい

らくちゃん

佐渡島 目指せ日本の ビオトープ

らくちゃん

くちばしを とがらせ孫は トキの真似

綾部 保知

ひねくれて くちばしとがらす 孫のトキ

綾部 保知

水槽の イカの白さと 君の肌

綾部 保知

雨上がり 朱鷺と競うか 佐渡の虹

野原 重政

真野湾を 茜に染める 佐渡の夕

野原 重政

いわし雲 朱鷺も眺める 佐渡の秋

野原 重政



佐渡K i d s 生きもの調査隊

三條 日菜子

朱鷺が舞う ノスタルジーだ 佐渡の空

野原 重政

佐渡おけさ 波まで踊る たらい舟

野原 重政

朱鷺色を 見れば佐渡が 恋しなり

中村 宗一

大空を 自由に飛べる 佐渡が好き

中村 宗一

篝火に 落ち葉ざわめく 能楽堂

かたつむり

人里の 空に親子の トキが舞う

みやんくん

日が沈む 沢崎鼻の 灯台に

みやんくん

ダイビング キャンプ磯釣り 佐渡島

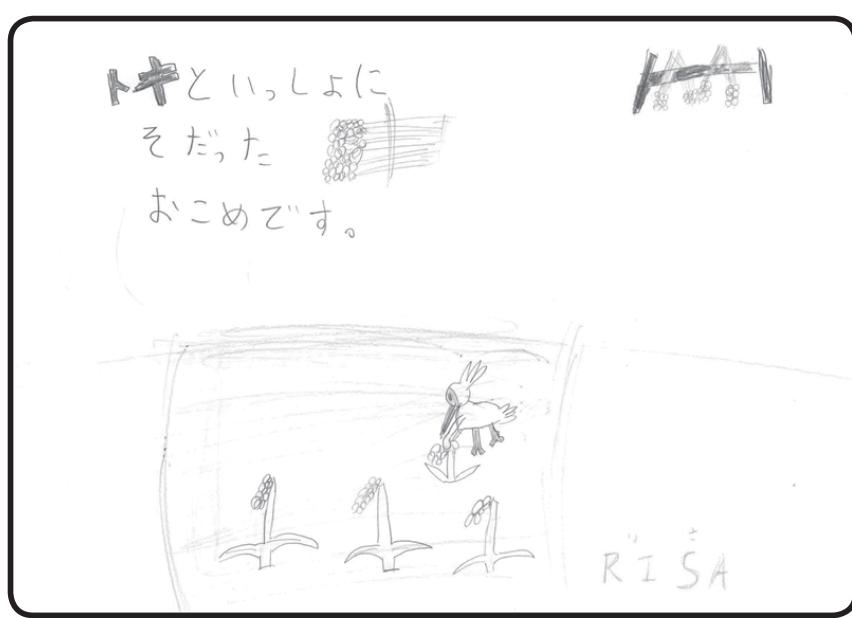
みやんくん

青い海 日本海なの 佐渡島

みやんくん

佐渡K i d s 生きもの調査隊

三浦 里紗



渡り鳥 羽根を休める 佐渡の浜

みやんくん

釣り人が 岩に群がる 佐渡の海

みやんくん

過去未来 佐渡の歴史と 時流れ

野原 重政

のんびりと 海岸めぐる 二ツ亀

野原 重政

黄金色 佐渡金山の 歴史見る

野原 重政

荒海も 佐渡へ佐渡へと 波寄せる

野原 重政

佐渡島 朱鷺と歴史を 語り継ぐ

野原 重政

鬼太鼓の 神のり移る しだら打ち

かたつむり

トキ時は 里の田畠で 羽根休み

佐々木 文夫

佐渡K i d s 生きもの調査隊

古玉 俊平



佐渡おけさ	聞けばお酒も	また美味し	綾部
来島に	喜び顔の	雀たちて	
たらしい舟	むかしの乙女	華ひらく	綾部
一步づつ	自然を友に	歩む佐渡	保知
海原を	大波小波	佐渡目指す	
たらしい舟	佐渡の波間で	身を任す	
朱鷺眺め	里山訪ね	佐渡巡る	
トキの声	聴いて元気に	なれる今	
おはようと	生きものたちに	今日もまた	
綾部			
保知			
保政			



佐渡K i d s 生きもの調査隊

伊藤  
蒼

ゆつくりと 佐渡の歴史に 朝が来る

トキが来て トキには和む トキの声

小坂 武弘

大自然 飲み食いすれば 溫暖化

小坂 武弘

1年中 今が自然を 語るトキ

お酢

去りし日も 心に残る 佐渡のTOKI

森 慎

佐渡に行き トキに会えたら 幸福だ

山田 浩則

赤トンボ 追っかけている 佐渡のトキ

山田 浩則

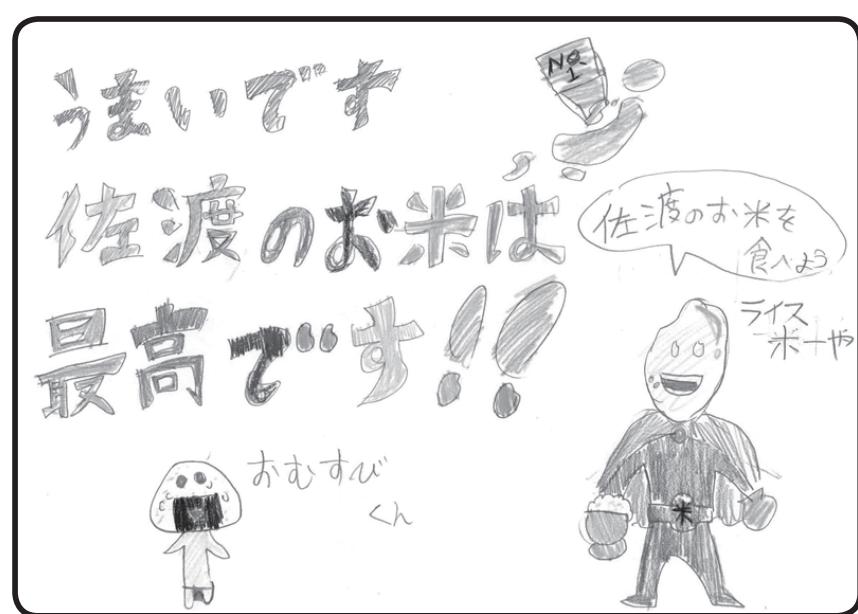
時は今 野生に帰れ 朱鷺放つ

たかさま

雪虫の 飛ぶ方遙か 北の海

たかさま

小坂 武弘



佐渡K i d s 生きもの調査隊

大豆生田 悠稀

ふるさとの 棚田の果てで 鹿の子泣く

たかさま

虫の音が 清かに響く 君の里

たかさま

稻の穂が 光り輝く 青春を

むこう

穂先から 涌き出る想い 手をそえて

むこう

新鮮な 気持で渡る 朱鷺の島

大釜 洋志

雨ごいを している蛙 ひょうきんに

綾部 保知

棚田より トキを見上げる 秋の暮

綾部 保知

元気です かえるもトキも 僕たちも

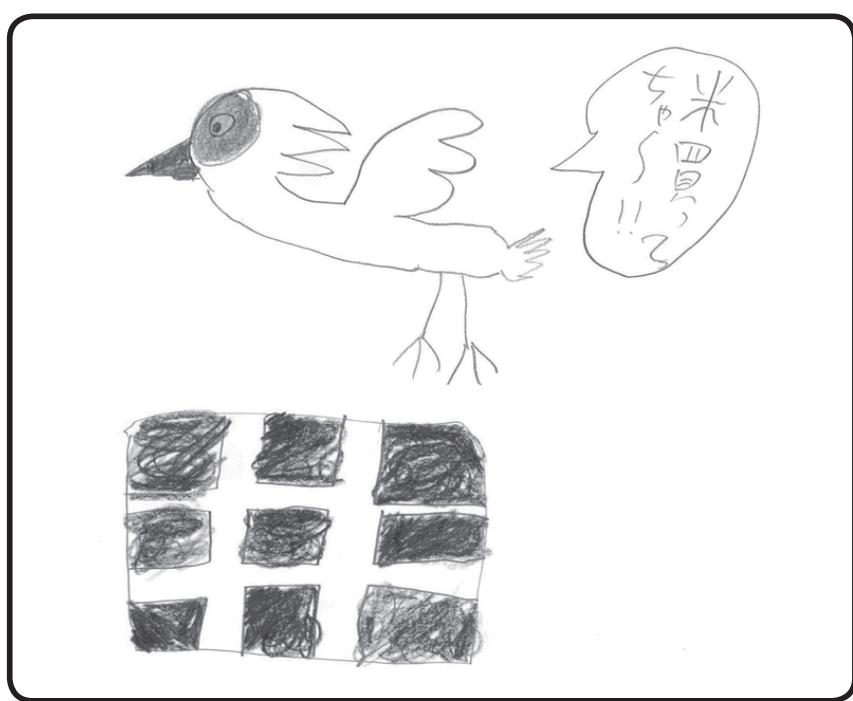
保知

凛として 熱きドラマの 生息地

渓太

佐渡K i d s 生きもの調査隊

小林 幹



朱鷺まもり 泥鮨棲む里 ビオトープ

佐渡守る 日本育み 地球愛す

人と虫 田んぼ賑わう 秋の郷

生態系 壊さず活かす 自然主義

竿の先 魚信まだかと 秋アカネ

外来魚 駆除活動や 薄紅葉

絶滅を 努力で回避 時代の知恵

月連れて 行つてみようか 佐渡島

忘れられない あの祭笛

渓太

渓太

渓太

渓太

渓太

品川  
三郎

船岡  
五郎

松原  
実



佐渡Kids生きもの調査隊

三條 日菜子

田にドジョウ カエルにメダカ ゲンゴロウ 千葉さざんか

残照に おけさたゆたう 佐渡紀行ぞ

薬寺村池丸

佐渡の海 のたりのたりと たらい舟

工コ爺

佐渡の空 いつかは見れる ときの朱あか

工コ爺

干し柿に 想い出すは 佐渡土産

工コ爺

佐渡の島 銀河が洗う 通り道

横山 閱治朗

佐渡の海 飛んでいくのか 赤とんぼ

横山 閱治朗

佐渡の道 「ネスバス館」で教えられ

これであなたも 佐渡の旅路へ

山田 秀夫

佐渡Kids生きもの調査隊

土屋 日向子

佐渡Kidsが  
作りました！



せひ  
買  
てくたさいニヤ

移り住む 友の便りも 大自然

豊富な恵み 絶賛の声

山田 秀夫

いにしえの 歴史のフロア 満ちており

タイムスリップの 伝説館

山田 秀夫

図鑑見る 植物園 そのままに

自然散策 癒しのガーデン

山田 秀夫

幽玄な 茅葺屋根の 能舞台

華麗に舞うて 大膳神社

山田 秀夫

酒蔵で 銘酒に加え 地ビールをも

美味に恵まれ 一杯と進む

山田 秀夫

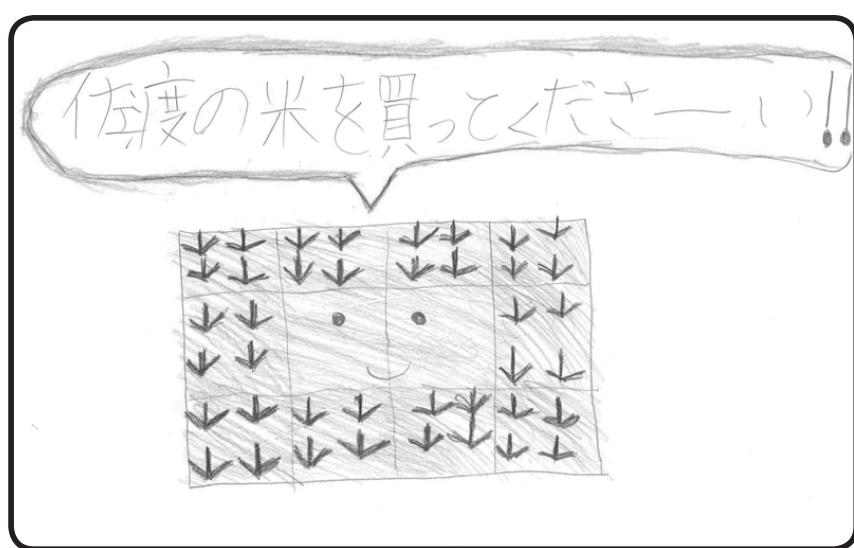
あんぽ柿 イカながら丼 おみあげの

朱鷺の子らも 奥深い味

山田 秀夫

佐渡K i d s 生きもの調査隊

堂谷 彩



思いやる 人といのちに やすらぎと

安心がある 佐渡のいきもの

山田 秀夫

絶景に 出会う楽しみ 素晴らしい

奏でる芸も 世代を超えて

山田 秀夫

名歌手 新潟育ち 幸子さん

佐渡にも来させと 歌い続ける

山田 秀夫

江と田んぼ いっぱい生きもの動いてる

だからトキも ちゃんと生きれる

新潟大学教育学部附属新潟小学校

茂野 太郎

創ろうよ 生きもの、田んぼと 住める世界

新潟県立佐渡中等教育学校

野尻 達大

田んぼあり 空からトキが みあげてる

新潟県立佐渡中等教育学校

小林 美優

佐渡K i d s 生きもの調査隊

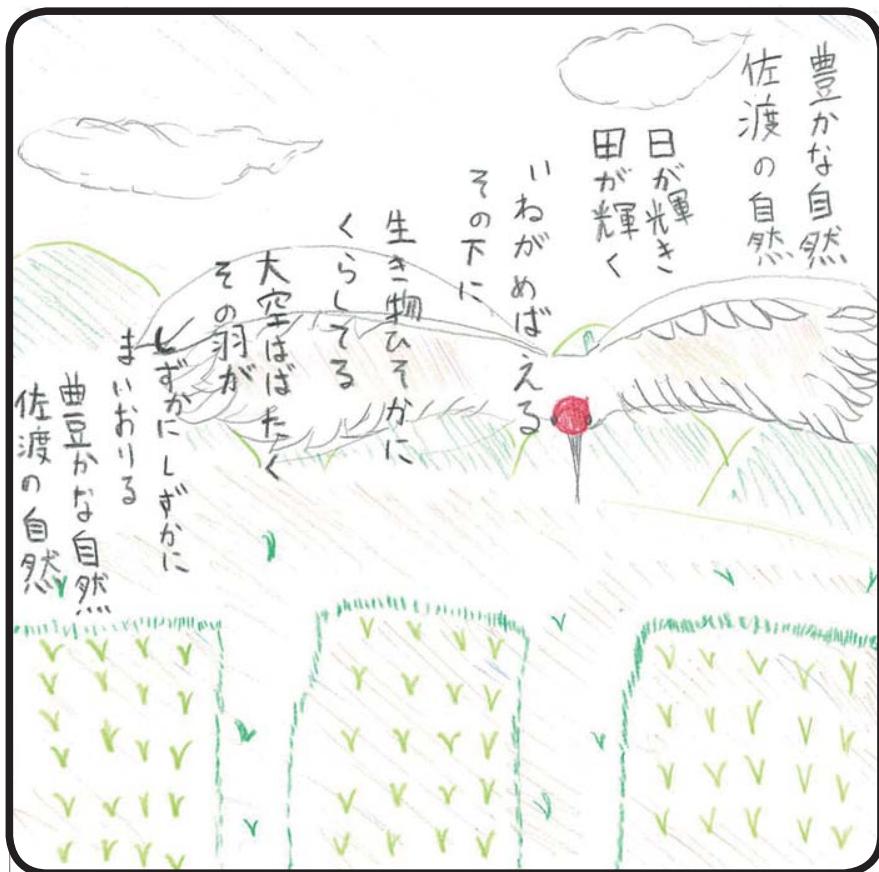
三條 彩夏



イラストエッセイ部門 グランプリ作品

新潟大学教育学部附属新潟小学校

遠藤 聖羅



【選考委員から】

田畠を見下ろしながら優雅に飛ぶ朱鷺がいいですね。また、エッセイも素晴らしいです。太陽の下、田んぼで稲が育ち、生きもの達も育ち大空を飛んでいるトキが舞い降りようとしています。

準グランプリ作品

新潟大学教育学部附属新潟小学校

森田 彩





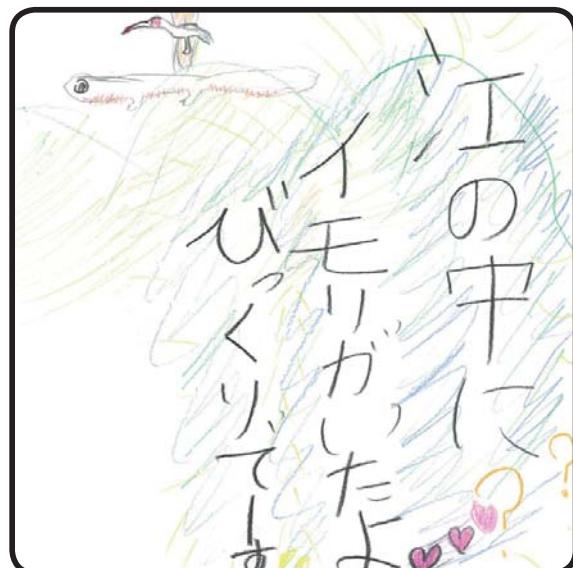
藤井 航希



森本 晃弘



藤瀬 愛子



田邊 晴弥



大竹 明里



河内 鳥一郎



掘 朱凜



篠田 英茉



今野 龍一



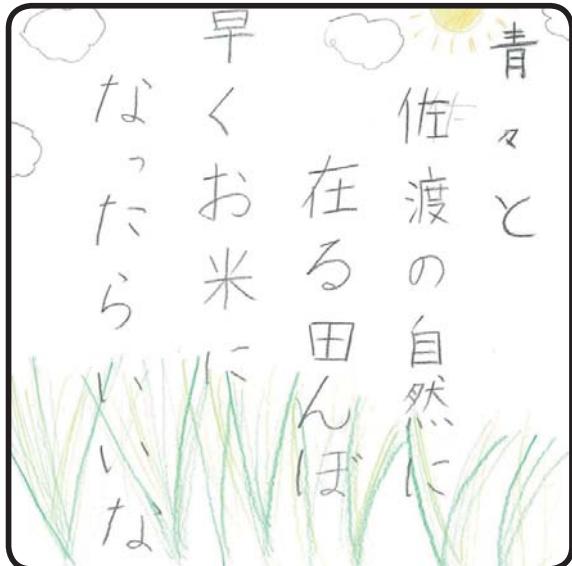
小杉 悠翔



岩寄 亘平



渡邊 烈



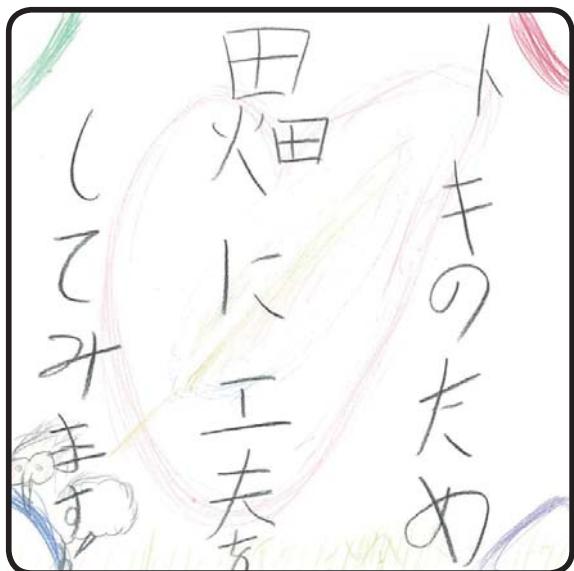
渡辺 真由



丸田 緑光凜



吉田 有輝



川瀬 英一





甲斐 綾香



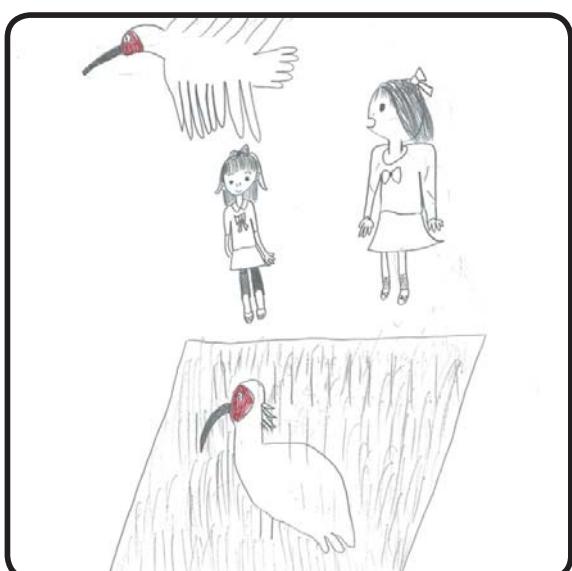
須田 真由



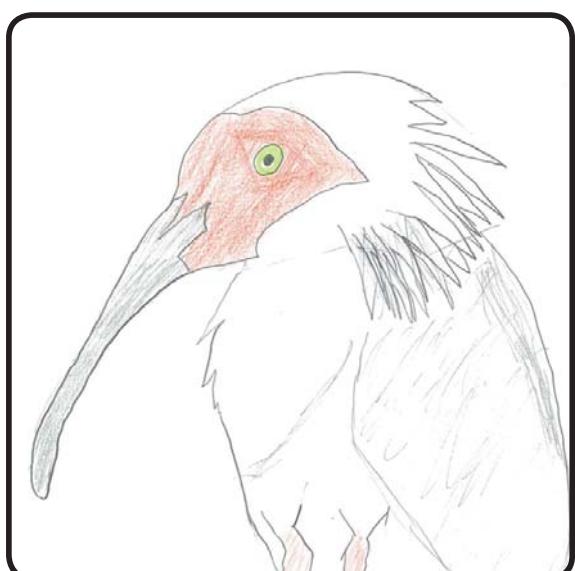
坂下 桃子



佐合 美彩希



市橋 柚希



筒井 悠介



奥田 竜矢



神藏 菜々子



山本 衣織



首藤 紗藏



## ◆ 生きものの語りの活用

佐渡Kids生きものの調査隊が、地産地消フェスタで、イラストやメッセージのラベルを貼ったお米を販売しました。



平成26年11月30日 佐渡市地産地消フェスタにて、「佐渡Kids生きもの調査隊」が、生きもののイラストや自分達が育てたお米のPRコメントを書いたラベルを貼った自然栽培米の販売を行いました。

当日は、子どもたち自ら、お客様にお米の宣伝や、量り売りをして、60キロ用意したお米は早々に完売しました。

### ▼佐渡Kids生きものの調査隊とは？

自然栽培のお米づくり体験や、生きもの調査、PR活動など、田んぼや生きものと、人のつながりを考える活動を行っています。詳しくは、調査隊のフェイスブックページをご覧ください。





佐渡  
生き  
調査

佐渡 Kids 生きもの調査隊 Facebook ページ

A screenshot of a Japanese social media profile for "Sado Kids" (佐渡 Kids). The profile picture features a circular logo with a bear silhouette and the text "佐渡 Kids 生きもの調査隊 2015". The main banner image shows a group of children in a field, some sitting and some standing, with a forest in the background. Below the banner, there are several tabs: "タイムライン" (Timeline) which is selected, "基本データ" (Basic Data), "写真" (Photos), "レビュー" (Reviews), and "もっと見る" (More). On the left, there's a sidebar with a user icon and the text "チェックイン1人 今週: 0件". At the bottom, there are three buttons: "近況" (Recent activity), "写真・動画" (Photos/Videos), and "クーポン、イベントなど" (Coupons/Events etc.).



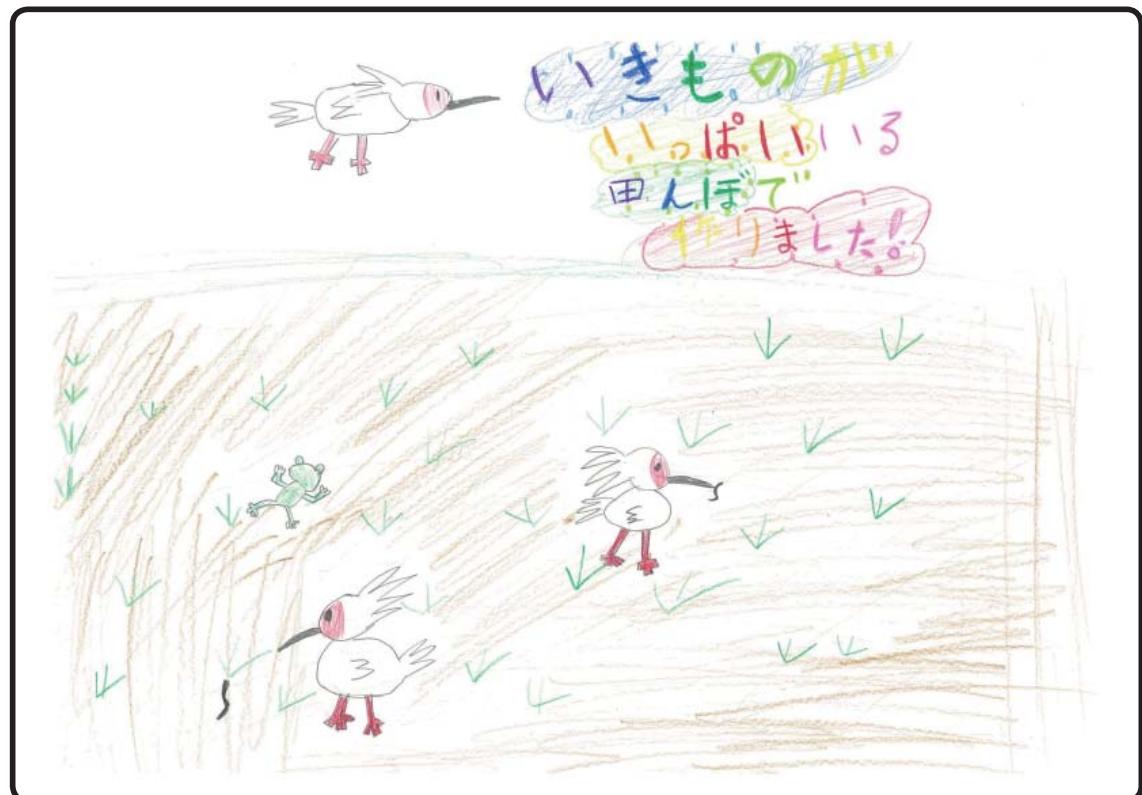
<https://www.facebook.com/ 佐渡 Kids 生きもの調査隊 -273715639353868/>



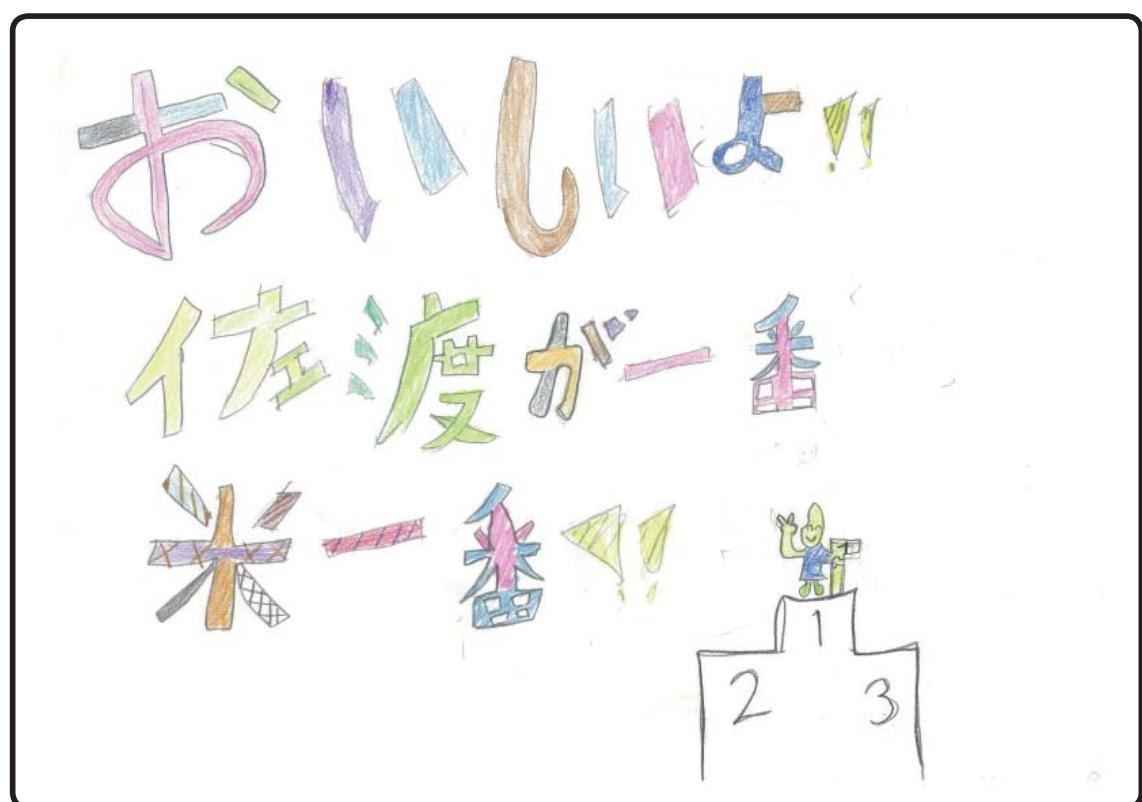
宇治 奈緒



古玉 ののか



三浦 里紗



名畠 莉花

平成24年、放鳥したトキから初めて4羽のヒナが育ちました。平成25年も繁殖に成功。平成26年には佐渡の自然の中で育つたトキが親になり、放鳥トキの孫にあたる3世も育ちました。今や野生のトキの総数は100羽を超えていきます。

これは国が立てた目標を1年早く達成するという快挙であり、佐渡の農家の取り組みである「生きものを育む農法」の効果をトキが証明してくれていると言えるでしょう。

自然の豊かさ、美しさ、その中で見つけたトキの姿、それを支える人びとの取り組みなど、様々な佐渡の魅力を、トキに負けずに人間からも発信していくと、今年も佐渡生きものの語りを募集しました。

今年は川柳・短歌部門が101作品、イラストエッセイ部門が28作品、フォトエッセイ部門が1作品、そして佐渡に視察に来たインドネシアのオム・サイさんはポエム（詩）を寄せてくださいました。皆様、ありがとうございました。

これらの作品をご覧になつた方々が、例えば佐渡への旅情をかき立てられたり、例えば田んぼ仕事の励みになつたり、例えば佐渡のお米が食べたくなつたりと、何かしらの思いを心に浮かべていただけたら幸いです。

2014年 3月



## 佐渡生きもの語り作品集 2014

発行日	平成 27 年 3 月 31 日 発行
編集・発行	一般社団法人 佐渡生きもの語り研究所
発行者	仲川 純子
表 紙	佐渡地域おこし協力隊 小川 佳奈子 〒 952-0103
	新潟県佐渡市新穂潟上 1101-1 トキ交流会館 2 階
	TEL/FAX 0259-22-2658 <a href="http://sado-ikimonoken.jp/">http://sado-ikimonoken.jp/</a>
印刷・製本	新穂印刷